



よ ば てんびょう 四つ葉点描

きょういくもくひょう 教育目標 「美しく生きる」



四日市市立中部中学校

令和7年3月3日

第26号

すてき そつぎょうしき 素敵な卒業式にしようね。

み らい み てん むす 未来を見て点を結ぶことはできない



いよいよ 3年生の卒業が目前となりました。3年生は、「自律」「協生」「創発」の実現に向け、意識を高く持って学校生活を送ってくれました。ありがとう！残り少ない中部中学校の生活ですが、下級生のキャリア・モデルとして、最後の日まで良い影響を与えてくれることを望んでいます。

「挑戦する」「経験値を増やす」ことについては、この四つ葉点描で何度も触れてきましたが、3年生に向けて最後のメッセージです。もちろん、1、2年生にも伝えたいことです。

わたし けいけん 点と点が結ばれた私の経験

遠い昔、私が教員になって 2年目。初めて担任を持った時の話です。当時の文化祭では、クラス合唱、クラス劇、弁論大会があり、何もかもが初めての私は「理科の先生にどうしろっていうねん！」と、パニック状態でした。

合唱は、知り合いの音楽の先生に泣きつきました。楽譜をもって出向き、指導のポイントをあれこれ教えてもらいました。あとは「大きな声を出せ！」としか言えない、つたない指導でした。

こま 困ったのが演劇です。舞台上で演じたことなんて一度もありません。

* 高校生の時のクラス劇で、大道具班の班長だったこと。

* 大学生の時、後輩の舞台(ミュージカル同好会)を1度だけ観に行ったこと。



この2つの経験を思い出しながら、必死で演劇指導？！をしたことを覚えています。

結果として合唱は負けてしまいましたが劇は好評でした。演じた生徒達、裏方の生徒達のおかげなのですが、私自身は上記の2つの経験があったからこそ乗り切れたと思っています。

まえおなが
前置きが長くなりました。

まさか、「教員になったら『劇』の指導をするかもしれない。」と、大道具班の班長をやったわけではありませ
せんし、ミュージカルを観に行ったわけでもありません。2 つの出来事は、たまたまです。だけど、そのチャンス
を逃さなかったことが、教員 2 年目の若い私を助けたことは間違いありません。

みらい
未来を見て点を結ぶことはできない。過去を振り返って点を結ぶだけだ。だから、いつか
どうにかして点は結ばれると信じなければならない。点と点が自分の歩んでいく道の途中の
どこかで、必ず一つにつながっていく。 スティーブ・ジョブズ

しょうらいやく た 将来役に立つかどうかは、わからないけれど・・・

「損か得か」だけで考えると、「やらないほうが得」と考えることもあるでしょう。でも、人生の先輩として語
るならば、大抵の経験は、なんらかの役に立っています。特に、新しいことを始めるときには、過去の経験・
知識の中から役に立ちそうなものを無理やり引っ張り出して、それをアレンジします。この時、点と点が結ば
れます。「新しいアイデアとは、違う場所に置いた古いアイデア」という言葉もありますね。

四つ葉点描 第20号では、「ピース」という言葉を使いましたが、「点（ピース）」はたくさ
んあったほうがいいし、いろいろな種類があったほうがいい。将来役に立つかどうかはわからない。
だけど、信じて挑戦して「点」を手に入れることが、未来のあなたを救うこととなります。



ねんかんさまざま
3年間で様々なことに挑戦してきた 3 年生ならば、実感を持てるのではないのでしょうか。「中部中で学ん
だことは何ですか。」と問われれば、「自律」「協生」「創発」の力で「やってみよう！」「なんとかなる！」と、
挑戦し続けてきたことです。数々の行事や活動を成功に導いた皆さんです。これからの人生でも、たくさん
の「点」を手に入れてください。大丈夫。皆さんならやれますよ。 **Take it easy! Good luck!**



グローバルな学校！！

せんじつ とくぎはっぴょうかい
先日の特技発表会、3年生のワールド・レク大会では、外国の文化
を楽しむことができました。私たちの知らない素敵な文化を身近に感じ
ることができるのも中部中学校ならではの、良い時間が作れました。